

NTT 研究所で 2 つの組織見直し。①「サイバースイノベーション総合研究所の人間情報研究」で研究グループが再編・新設される。②「品川から横須賀のロケ移動がある」③「コミュニケーション科学基礎

職場から



インピーダンス

日本共産党通研支部

<http://jcp-tsuken.com/jcp-tsuken@hotmail.com>

No. 2681

2024 年 6 月 10 日

定価 1 部 10 円

政治資金規正法案 参院審議

日本共産党は

「企業・団体献金全面禁止法案」など 2 法案を提出

参院で日本共産党の井上哲士議員は、自民案は肝心かなめの企業・団体による献金や政治資金パーティー券の購入の禁止が抜け落

ち、「政策活動費」を新たに法定化する改悪案だ」と批判。日本共産党提案の企業・団体献金の全面禁止は「政治改革」の核心だと強

調しました。また「政党助成法廃止法案」を提案。制度導入以来、政党助成金の総額は 29 年間で約 9250 億円に上り、

研究所の柏野多様脳特別研究室が廃止され、研究テーマが他のグループに移管される」「いずれも実施日は 7 月 1 日」

止法案を提出している。しつかり議論してほしい」港区長に無所属の清

ろだ「共産党は自主支援で応援した」「自民党の推薦が足をひっぱったとの声もある」メキシコ初の女性大統領が誕生。「メキシコ市長だったクラウディ



6 日、政治資金規正法改定案が衆院で可決。「肝心の企業・団体献金を禁止せず、パーティー収入もそのまま」「政策活動費の公開は 10 年後。タイムカプセルとの批判もある」「参院では共産党が企業団体献金禁

家愛氏が当選。「自民・公明推薦の現職を破った」「港区は大企業の本社がいっぱいあるとこ

【つらへ続く】

都知事選・都議補選へのアピールを发表

日本共産党東京都委員会は 5 月 23 日、「自民党政治に審判を下し、みんなの希望がかなう東京へ、力をあわせましょう！ 都政を都民の手にとりもどす都知事選・都議補選アピール」を发表しました。

▼アピールの骨子

1、日本の政治のゆくえ、都民の命と暮らしがかかった選挙

・小池都政は暮らしよりも、財界の目先の利益を最優先にする自民党政治そのもの

2、新しい都知事の誕生で都政の抜本転換をはかろう

(1) いのち、暮らし、福祉最優先の東京を

・都民の暮らしの痛みを顧みない小池知事
・都の大きな財政力を活用し、都民の願いに応える都政を

(2) 大型開発をやめ、都民の声が生きる都政を

・「神宮外苑の木を伐（き）るな！」の故・坂本龍一さんらの叫び
・「財界ファースト」でまちを壊し都民の声をつぶす都政からの転換を

(3) 憲法を守り生かし、平和と人権の東京を

・問われる小池知事の人権意識——ジェンダー、教育、歴史問題
・人権尊重の国際的到達点にかなう知事を誕生させ、真の国際都市東京に
・平和——米軍基地による危険から都民を守り、首都から平和の発信を

3、都政を動かしてきた都民の運動と日本共産党都議団

・認可保育園増設、学校給食費無償化などでの前進。痴漢根絶を都政の課題に

▼アピール全文は日本共産党東京都委員会のホームページで読むことができます。



企業・団体献金との二重取りが続いていると批判。憲法違反の制度であり、廃止すべきだと主張しました。

インピーダンスにカンパをお願いします
インピーダンス編集委員会

小池都政の大問題④

新ルートで過密化する羽田空港

い、後押ししてきたことが明らかに。羽田新ルートは中止すべきです。

日航機と海保機の衝突事故は、都と国が進める羽田新ルート導入などによる過密化が背景にあることは否定できません。都は2012年度から毎年、国に成り代わって空港容量の拡大などの調査を行

疑惑だらけのプロジェクト

前年度・今年度で48億円もの都税を使うプロジェクト

学術会議任命拒否 政府に拒否理由の情報公開求め 行政訴訟の審理始まる

日本学術会議会員への任命を拒否された6人の学者らが拒否理由の情報公開などを求めた行政訴訟。第1回口頭弁論が5月29日に東

京地裁で行われました。学術会議会員の首相による任命は「形式的任命にすぎない」という法解釈を勝手に覆して学術会議の人事への介入行為。根拠や理由を記録した行政文書が存在しないはずがありません。なぜ6人だけを不適任と判断したのか、政府にはその根拠を説明する責任があり、全面的に情報を開示すべきです。また6人をすみやかに会員任命すべきです。

ピング。都庁での投影の委託先は、五輪談合で指名停止中の電通が100%出資する電通ライブ。選んだ側の東京都観光財団には電通が理事に加わり、入札もせず異例の速さで決定するなど極めて不透明です。税金投入はやるべきです。

読書

書いてはいけない

日本経済墜落の真相

森永卓郎著

三五館シンシャ
1500円+税

大手メディアのタブーに切り込んだ本。坂本九さんも乗っていた日本航空123便の墜落事故は、圧力隔壁の損壊が原因とされたと疑念だらけ。ボイスレコーダーなどの開示をめぐる裁判はつづく。事故は自衛隊機が絡んで発生か、情報操作や原因隠しにアメリカが協力か……

【職場からの続き】

賞を受賞した際のメンバーでもある」

×

トヨタなど自動車メーカー5社が認証不正。5社で500万台



アジサイ ユキノシタ科 [Hydrangea macrophylla]

以上の認証不正が発覚した「国の基準より厳しい試験をしているからと虚偽データを使用した」「去年、ダイハツで不正が発覚したばかり

~~~~~

この事故後に猛烈な日本政治経済介入。日米半導体合意もその一つ。「123便のことをばらすぞ」と脅される懸念で言われるまま。タブーの真相に驚く。

(E)

りなのに」

×

次期戦闘機の共同開発条約、参院で承認。共同開発・輸出を推進する機関を英国・イタリアと設立する「死の商人の国に道を開くものだ」「共産党と沖縄の風は反対した」

×

×

NHKの朝ドラが話題に。「法律の問題で朝ドラは異色だがすごい人気だ」「戦前もそうだが、戦後も男社会だった」

「たんだ」「立ち向かう主人公たちが素晴らしい」「ジェンダー平等が話題になっているから



× 全米女子オープンゴルフ。笹生優花選手が優勝、2度目の快挙」

「洪野日向子選手も2位、良かった」

×

「アジサイがきれいだ」「いろいろな色と種類が楽しめる」「私はヤマアジサイが好きだ」

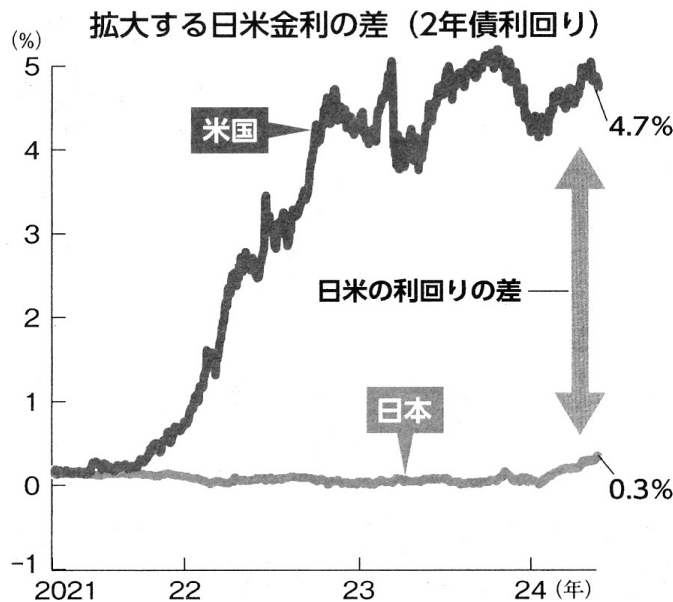
## 投書

昭島市の玉川上水で  
ホタル



昭島市を流れる玉川上水でホタルが見られる。西武拝島線の西武立川駅近くの美堀橋から拝島駅あたりまで。あちこちで数匹ずつ光の筋を描いている。夜の8時すぎだったが、子ども連れの親子が多かった。こうした自然環境はいつまでも残したい。

(I)



### 今週の数字